

DECISION

Request for Redress

Request No.: 07

Heard Jointly With Number(s): 08

Event: 2023_Chugoku_Sikoku_Inter-College Yacht Competition Race Number: 3
Hearing Schedule: 2023-07-01 20:15

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 07: スナイプ - 12 広島工業大学 30896 - 千田 芳暉

Race Committee

Request No.: 08: スナイプ - 06 広島大学 31623 - 西側 慎一郎

Race Committee

Witnesses: 伊藤大輝 (No11)

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Hail not required

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問番号7は、審問番号8と密接に関連したインシデントであったため、両審問はRRS 63.2 に従って同時に行った。No6のクルーの村尾優真は、オブザーバーとして審問に出席した。証人としてNo11の伊藤大輝が審問に出席した。日本セーリング連盟規程付則JAに従って構成されたパネルで審問を行った。

FACTS FOUND

スナイプ級第3Rスタート信号時 (15:23) の風速は2ノットであった。潮流はスタートラインから風上マークに向かって流れていた。

先頭艇が第1マーク回航した時の時刻は15:35:40であった。

No7とNo11が第1マークを回航したときの風速は1~2ノット程度であった。

4マーク (第2レグ) でコースが短縮された。

RRS30.3及び30.4に違反せずにスタートした先頭艇がフィニッシュした時刻は16:04:24であった。そのときの風速は約2ノットであった。

その後、さらに2艇がフィニッシュした。

フィニッシュ・ウィンドウまでにNo7とNo11はフィニッシュラインを横切ることができなかった。

No7とNo11はDNFと記録された。

SI14.1には、マーク1のタイムリミット:20分、レース・タイム・リミット:50分、フィニッシュウィンドウ:15分と規定されている。

SI14.2には「マーク1タイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レースは中止される。これは、RRS32.1を変更している。」と規定されている。

SI14.3には「フィニッシュ・ウィンドウは、RRS 30.3および RRS 30.4に違反せずにスタートし、コースの帆走をした最初の艇がフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時

間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアをせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は審問なしに「フィニッシュしなかった (DNF)」と記録される。これはRRS35、および RRS A5.1、A5.2 を変更している。」と規定されている。

NoR1.8. には、「SCIRA 規則の『国内選手権および国際選手権大会運営のための運営規則』は適用しない。」と規定されている。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules:

レース委員会の不適切な処置または不手際はなかった。したがって、RRS 62.1(a)の救済の要件は満たされていない。

DECISION

Date & Time: 2023-07-01 20:30 JST

救済を与えない。

PROTEST COMMITTEE

Committee Type Protest Committee

Chaired By: Tomita Hiroshi (JPN)

Committee Members: Tomita Hiroshi (JPN), Aki Ikegami (JPN), Keiji Kato (JPN), Hirofumi Fujii (JPN), Kazuo Kousaka (JPN)

Printed: 02 Jul 08:34